

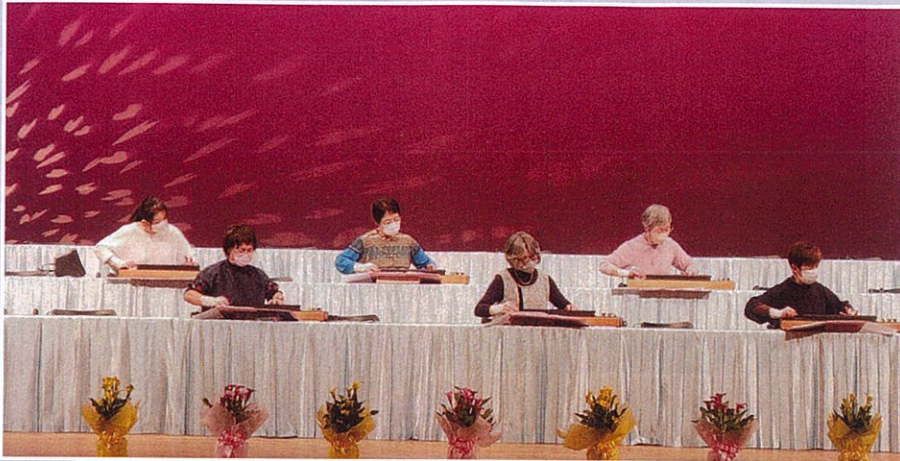
令和5年度  
芸術文化  
特別記念事業

北海道大正琴普及会  
30周年記念発表会

令和5年4月22日(土)  
江別市民文化ホール(えぼあホール)

二〇二三年四月二十二日に、えぼあホールにて「三十周年記念 大正琴発表会」を開催いたしました。先代本部長の「佐藤郁夫」が立ち上げた、北海道大正琴普及会は皆が楽しく演奏できる大正琴サークルを目指し、立ち上げ当初は生徒募集などを自らポステイングするなど、苦勞した時期もあつたようです。コロナ禍になり、満身に練習の出来ない時期などもあり会員も徐々に減ってきたりと暗い話題ばかりでしたが、三十周年の記念発表会を開催できたことは、講師・会員を含め、とても喜ばしいことでした。

現在は、わたしが先代本部長「佐藤郁夫」から引き継ぎ、様々なところでの演奏機会も回復しはじめ、また皆様の元へ音楽を届けていきたい



と思っています。さらに三十五年、四十年と続けていきたいと思っています。  
(北海道大正琴普及会 本部長 能登みきひろ)

令和5年度  
芸術文化  
特別記念事業

江別支部創立  
60周年記念吟道大会

令和5年10月9日(月・祝)  
江別市民会館

公益社団法人日本詩吟学院認可北海道中央岳風会所属江別支部は令和五年十月九日(月・祝)午前十時から江別市民会館小ホールにて、江別支部創立六十周年記念吟道大会を開催しました。

この記念大会は、五年毎に開催され、昭和三十九年一月に道内二十五番目の支部創立の認可を受け、六十年の年にあたり、現在約百名の会員が独吟、合吟、構成吟、特別吟詠など普段の練習成果を披露する場にもなっております。

江別市文化協会より藤田理事長を招き、また、上部団体である北海道中央岳風会所属の各吟詠会からの代表を招きましての厳かな開会式でありました。

式典では、各種許證授与他、来賓祝辞、北海道中央岳風会会長祝辞、祝電披露、支部長謝辞が行われ終了。昼食後「江別に生きる」と題して構成吟を披露。(写真)その後、担当師範吟詠、大会役員吟詠、来賓吟詠と続き、

プログラムをはじめ、会員手作りの大会でしたが午後四時ごろに無事終了。

通常の支部大会は、年に1回秋に行っておりまして、是非一度見学に来て下さることを願っています。

支部会員ですが、昭和六十三年の三百五十名がピークで平成十七年まで三百名以上を保っていました。それが以降徐々に減り現在は百名を割ってしまいました。何とか会員を増やしたく様々な努力をしてきましたが、会員の高齢化、また、新規で入ってくれる人も少なく詩吟の魅力がアピールするもあまり効果が出ない状況です。詩吟は腹式呼吸で



行うので身体にとっても良い趣味ですので、少しでも興味のある方は是非体験してみることをお勧め致します。各公民館、福祉センター等で問い合わせして下さい。心よりお待ちしております。



令和5年度  
芸術文化  
特別記念事業

第9回北海道青少年オーケストラ  
フェスティバル in 江別

令和6年3月10日(日)  
江別市民文化ホール(えぼあホール)

今年度はドカ雪に苦しんだ江別でしたが、少しづつ春の匂いがする三月上旬。第一回の開催以来(二〇一四年八月)十年ぶりの江別開催となる「第9回北海道青少年少女オーケストラフェスティバル in 江別」が開催されました。

地元、江別ジュニアオーケストラを始め、近郊の札幌、千歳、岩見沢、遠くは旭川や名寄、音更からもジュニアオーケストラの奏者が一堂に会し、年に一度のフェスティバルです。女の子たちはカラードレスに着飾って気分はデイズニールランドのお姫様、男の子も蝶ネクタイを締めていつもより凛とした姿で、晴れの舞台上で



す。演奏会は、初級・中級・上級の三部門に分かれてそれぞれ演奏を披露。幼

児から小中学生はもちろん、高校生、大学生、保護者がステージに立ちました。初級の部では、「ドラえもん」や中級では、映画やゲーム音楽から「スーパー・マリオ・ブラザーズ・メドレー」や「ハウルの動く城メドレー」など耳なじみのある楽曲が演奏されました。

後半の上級の部では、江別に流れる石狩川をチェコの「モルダウ」に見立て、メインは同国のドボルザーク作曲、交響曲第九番「新世界より」の第四楽章(フィナーレ)を高く披露。中でも注目は、江別出身の出口夢果さん(東京藝術大学1年)

のフルート独奏で尾高尚忠作曲の「フルート協奏曲」で、難しいパッセージを鮮やかに、和の響きを西洋の楽器(オーケストラ)で奏でていたのが印象的でした。プロ顔負けの演奏に会場からは大きな拍手が送られました。また、この日は久々にジュニアオーケストラの演奏会登場となった、江別のゆるキャラ

「えべちゅん」が登場し「ドレミの歌」を指揮して会場を沸かせました。続いて、会場から指揮体験コーナーでは、六名の子ども達がオーケストラを前に堂々と指揮をしました。この中から、将来のマエストロが誕生するかもしれませんね。

今回は当協会の十周年として、文化協会の「芸術文化特別事業助成金」を活用させていただき、演奏会を開催することが出来ました。あらためて、関係者の皆さんには感謝申し上げます。当協会が手がけた第一号のジュニアオーケストラが、江別ジュニアオーケストラです。以

後、江別、岩見沢、名寄、旭川、音更と広がっていきませんが、ここ江別を誕生の地として大切に思っています。子ども達と今後も音楽(オーケストラ)を通じて、地域の文化振興、青少年の育成やまちづくり、国際交流に役立てるように励んでいきたいと思っています。これからも温かく見守っていただければ幸いです。江別にもジュニアオーケストラがあるんだよ！いつでも見学、体験に来てください。お待ちしております。

(ごさんご青少年オーケストラ協会 代表理事 助乗慎一)

令和5年度第47回道民芸術祭兼

第50回石狩管内郷土芸術祭

日時 令和5年11月23日(木・祝)  
会場 北広島市芸術文化ホール

表彰式

石狩管内文化団体協議会表彰

文化賞 山田 浩 様

(江別市文化協会 副理事長)

舞台部門

江別市文化協会 Iris ダンススタジオ

